

星野新町長あいさつ

星野町長が就任

4月24日に執行されました上三川町長選挙において、星野光利氏(48歳)が初当選を果たし、5月29日付けをもって上三川町長に就任されました。



星野光利新町長

「思いやりのある現場主義」を まちづくりに！

多くの皆様のご推挙を受けまして、今回の町長選挙において初当選し、まちづくりのリーダーとして町政運営を担うことになりました。ご支援をいただきました多くの町民の皆様に、心から感謝を申し上げます。

さて、今日の社会情勢は、世界的な金融危機からの脱却が出来ないまま、東日本大震災の影響を受けまして、人も物も大きな傷を負っています。

しかし、こうした逆境にめげず、先人が築き上げた「ふるさと上三川町」を守り、発展させていかなければならないと考えています。

私は、「まちづくりは人づくり」であると常日頃より考えており、こうしたことから、より多くの町民の皆様とコミュニケーションを図り、腹を割って色々な話を聞き、言わば「会話と心のキャッチボール」を大切にしていきたいと思っています。

基本的な施策としましては、猪瀬前町長が策定されました「上三川町第6次総合計画」を基本とし、後期基本計画に掲げられた諸施策を推進してまいります。

特に地域コミュニティを推進し、住民の意見を尊重した地域づくり、まちづくりを推進したいと考えており、この度の選挙でも多くの町民の皆様と接し、様々なご意見をいただきました。その中で、「安心・安全」を望む声は多く、町総合計画の基本構想にあります「より安心・安全で活力のあるまち 上三川」は、まさに私が思い描く理想のまちでもあります。

東日本大震災を経験し、多くの町民の皆様が望んでおられる災害に強いまちづくりを、地域防災体制の整備と合わせながら進めてまいります。

また、高齢者も、子育て世代の方も、さらには、若者や子どもにとっても生活しやすい環境づくりを推進し、生涯に亘って住み続け、住んで良かったと思われるまちづくりをしたいと思います。

そして、わが町上三川の無限大に広がる発展の可能性をより現実のものとしていくために、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

猪瀬前町長あいさつ

猪瀬町長が退任

5月28日をもって、猪瀬成男町長が退任をされました。

猪瀬前町長は、平成7年に町長に初当選をし、4期16年間の長きにわたり町政を担ってこられました。

この間、上三川町第5次・第6次総合計画に基づき、住環境の整備を図るとともに、町民の健康づくりに力を注ぎ、健康づくり、町民の交流の拠点となる「上三川いきいきプラザ」の整備に尽力されました。



猪瀬成男前町長

退任にあたって

16年前の平成7年に、多くの町民のみなさまのご推挙をいただき、上三川町の町政運営を任されました。私はそれまで、政治の世界とまったく関係のない立場でありましたので、行政の仕組みや流れをつかむことに大変苦勞をいたしました。しかし、町民お一人お一人から、また、各界各層の人たちからご理解と、頑張れという励ましのことをいただき、私が就任当初から目指しておりました、住みよい暮らしやすいまちづくりを推進することができました。

具体的には、快適な生活環境の整備といたしまして、全町下水道化構想や全町水道化構想に基づく上下水道の整備を行うとともに、自動車のまちとして恥ずかしくない道路網の整備をいたしました。また、若い世代が多いことから、子育て支援の充実として、中学3年生までの医療費助成、そして、保健福祉事業の拠点となる『上三川いきいきプラザ』を建設いたしました。

さらには、平成の大合併の中で、町民の意思として単独での行政運営を選択したことから、行政改革を推進し、公共施設への指定管理者制度の導入や、保育所の民営化などを積極的に行いました。

いま思いおこせば、自分自身が健康に恵まれ、多くの方々の支援や励ましがあって、無力であった私が、この重責を達成できたものと思っています。今後は、新しい町長のもとで、上三川町が更なる発展をとげることを大いに期待したいと思います。



ティーボール大会での始打式



整備に尽力された「上三川いきいきプラザ」